



# パーススタジオ

1 パーススタジオの起動について	1
2 視点設定・視点登録	2
3 光源の設定	4
4 質感の変更	4
5 素材の編集	5
6 部品の配置	6
7 画像作成・印刷・保存	6

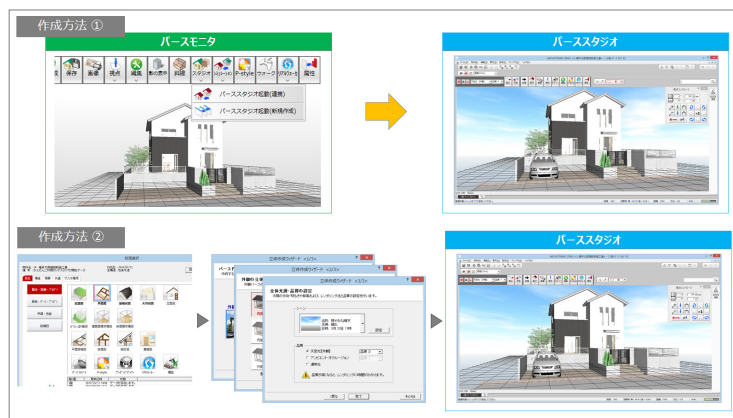
# 1. パーススタジオの起動について

外観や内観のパース画像はパースモニタでも作成可能ですが、パーススタジオで詳細な編集をすることで、よりきれいなパース画像を作成できます。



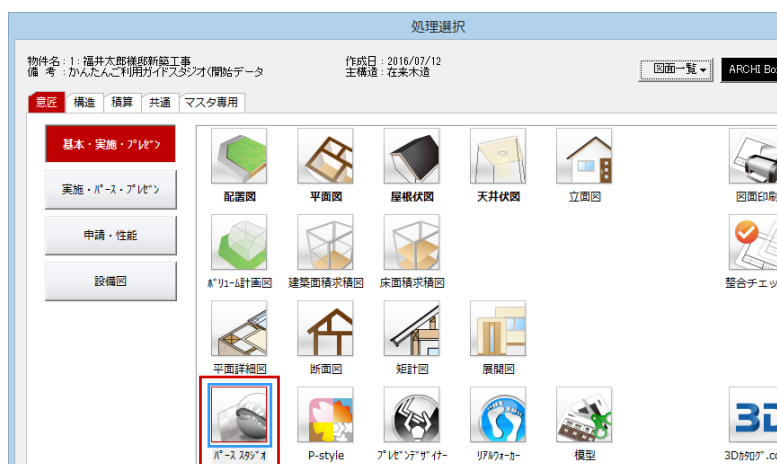
パーススタジオの起動には 2 通りの方法があります。

- 1 つ目はパースモニタの立体データから連携する方法、
- 2 つ目はパーススタジオを起動して、ウィザードを進めて立体を作成する方法です。

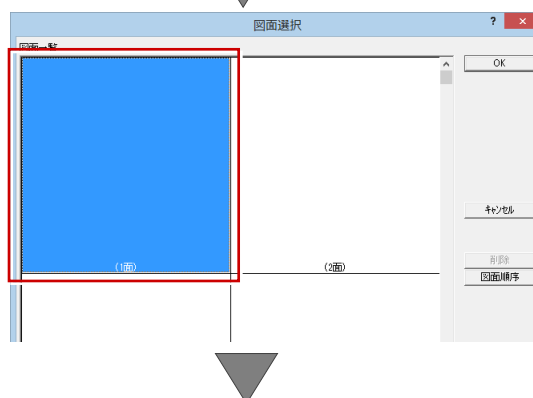


ここでは、パーススタジオを起動して、ウィザードを進めて立体を作成する方法で外観パースを作成します。

では、パーススタジオを起動しましょう。



「図面選択」ダイアログの1面を選ぶと、「立体作成ウィザード」が表示されます。



「外観パース」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックし、次の画面では室内データの作成方法と外構作成に使用する配置図の面を選択します。

最後に、光源や品質の設定を行います。

「シーン」には背景や日時・天候状態が設定されており、これにより「光源の太陽位置や色」が設定されます。

ここでは、シーンを「穏やかな晴天」にして、品質は「天空光（外観）」の「品質4」に設定して、「完了」をクリックします。

パーススタジオの立体データが作成されます。

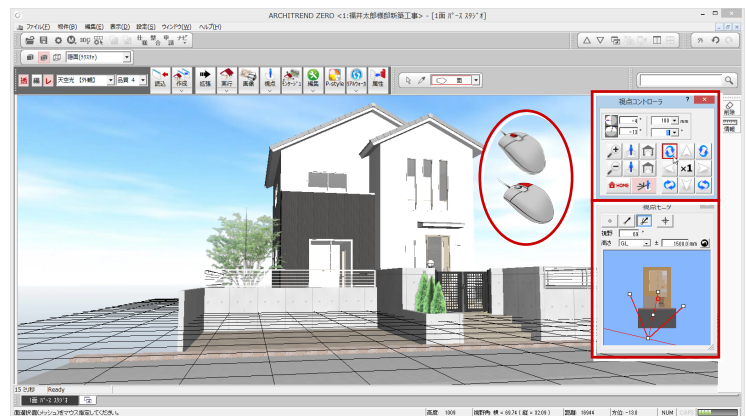


【1面 パーススタジオ】

## 2. 視点設定・視点登録

まず、視点を設定しましょう。

視点は、視点コントローラや、マウス操作、視点モニターで設定できます。

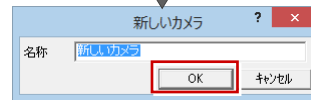


アングルが決まったら、現在のパーススタジオウィンドウ  
に表示されている視点を「カメラ」に登録しましょう。

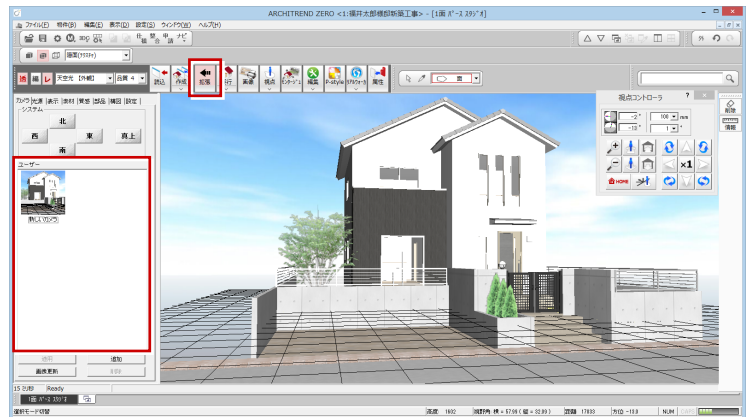
モニタ上で右クリックして、「ユーザーカメラ」メニューの  
「現在の視点を追加」をクリックします。



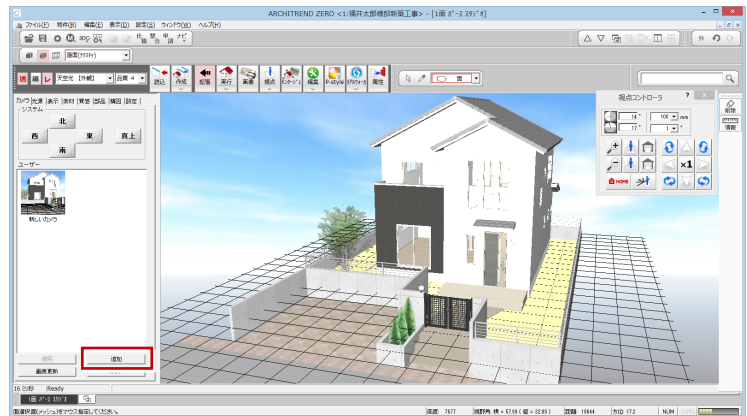
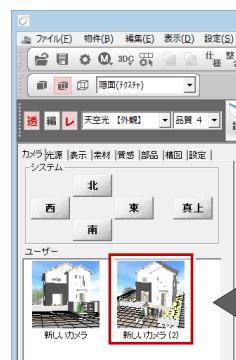
「名称」を入力して「OK」をクリックします。



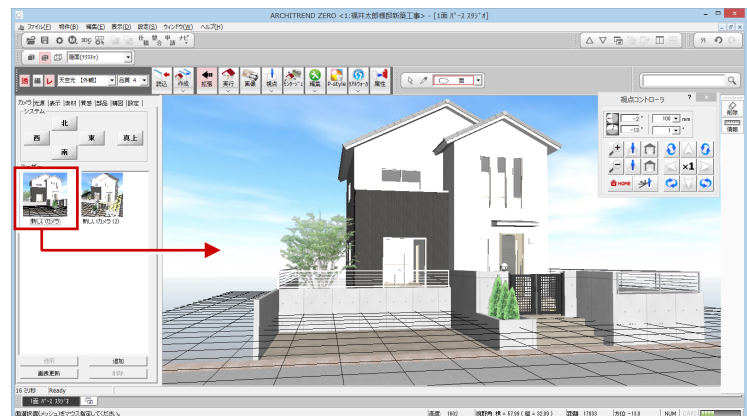
登録した視点は、拡張画面の「カメラ」タブの「ユーザー  
」に追加されます。



「追加」をクリックしても視点登録できます。



視点を変更しても、追加したカメラをクリックすると、登  
録した視点に切り替えることができます。

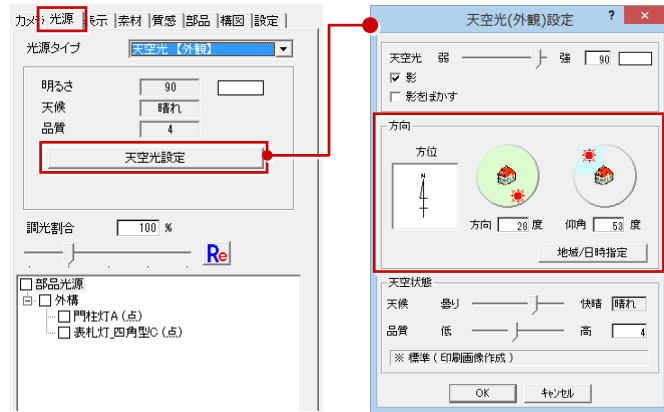




### 3. 光源の設定

光源タブを確認しましょう。

ウィザードで選択したシーンから太陽の位置が設定されていますので、必要があればここで変更できます。



ここでレンダリングイメージを確認してみましょう。



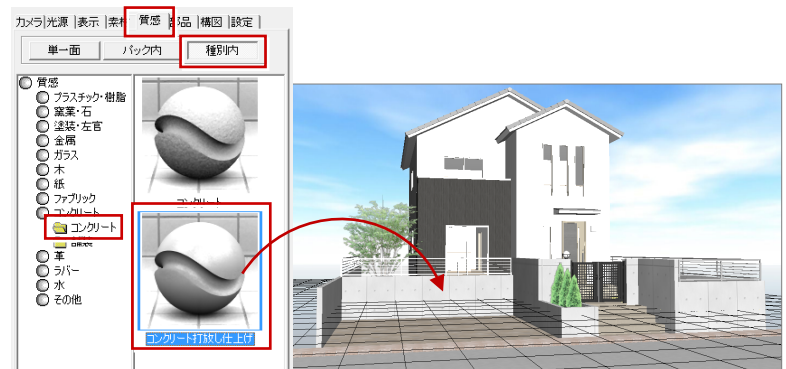
【レンダリング実行後】

### 4. 質感の変更

では、塀の質感変更してみましょう。

「質感」タブを選び、「種別内」をクリックします。

ツリーから「コンクリート」の「コンクリート打ちっ放し仕上げ」を選んで、塀にドラッグ&ドロップします。



変更した質感を確認するには、「レンダリング実行」をおこないます。



【質感変更前】

【質感変更後】

## 5. 素材の編集

次に、外壁の素材を編集しましょう。

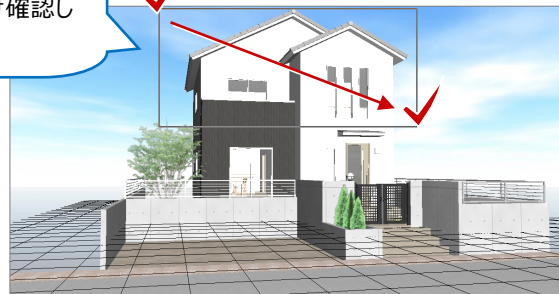
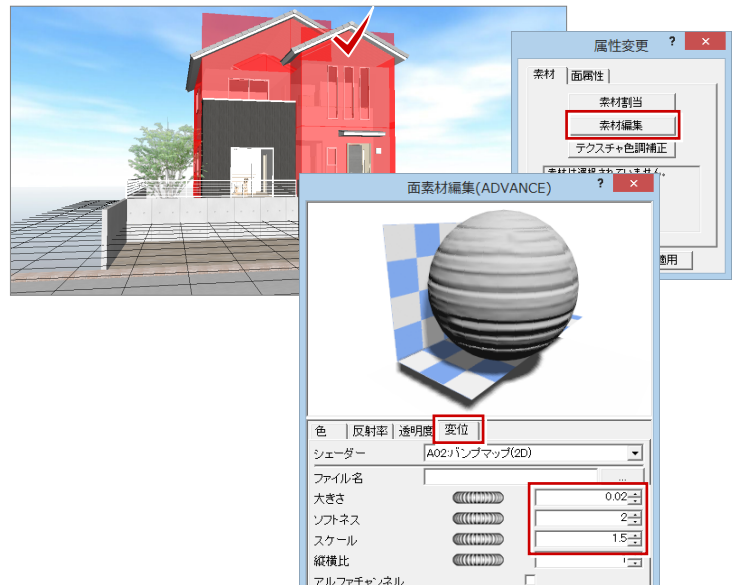
ここではモアレを抑えるために外壁仕上の横目地の間隔を大きくします。

選択方法を「面素材」にして、「属性変更」をクリックしたあと外壁仕上を選択すると同じ素材の外壁が全て選択されます。

表示されたダイアログの「素材編集」をクリックして、「変位」タブの、「大きさ」「ソフトネス」「スケール」の値を変更します。

「部分レンダリング実行」で範囲を指定して、素材を確認します。

「部分レンダリング実行」は、時間が無い場合や、一部だけ確認したい場合に便利です。



【素材変更前】

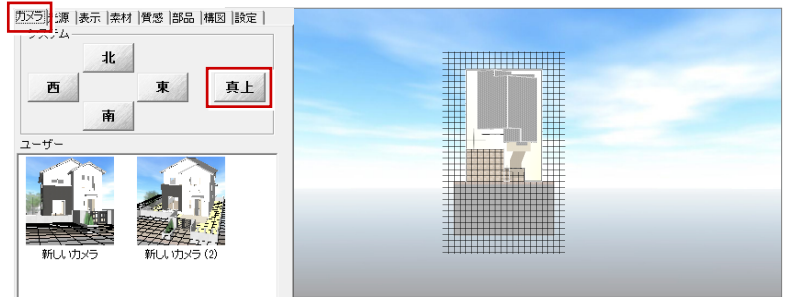


【素材変更後】

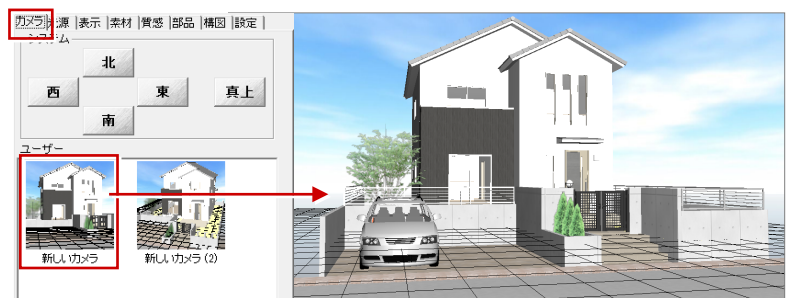
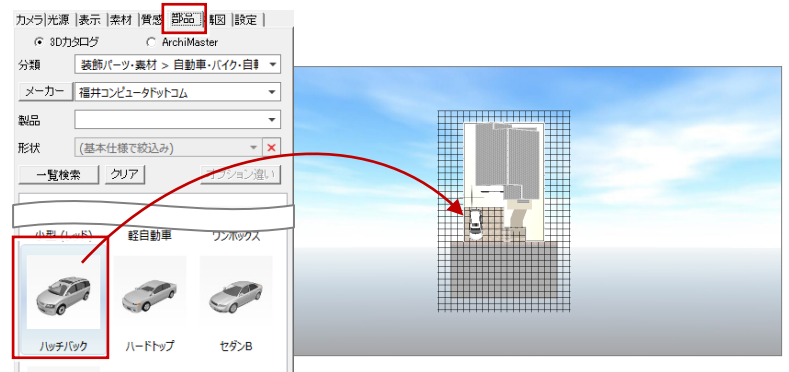
## 6. 部品の配置

次に自動車部品を配置します。

ここでは配置しやすいように、「カメラ」タブで「真上」からの視点に切り替えて、「部品」タブから自動車を選びます。

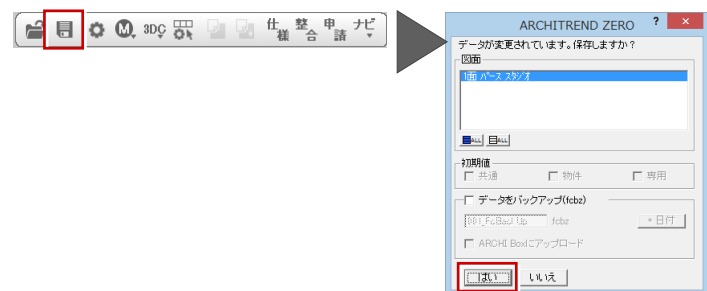


ドラッグして配置したあと、登録した視点に戻します。



## 7. 画像作成・保存・印刷

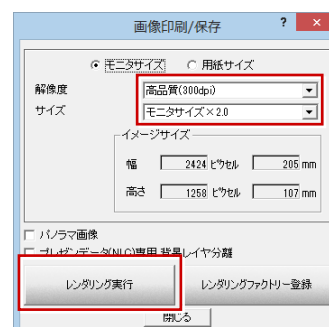
データを保存して画像を作成しましょう。



「画像印刷/保存」をクリックします。



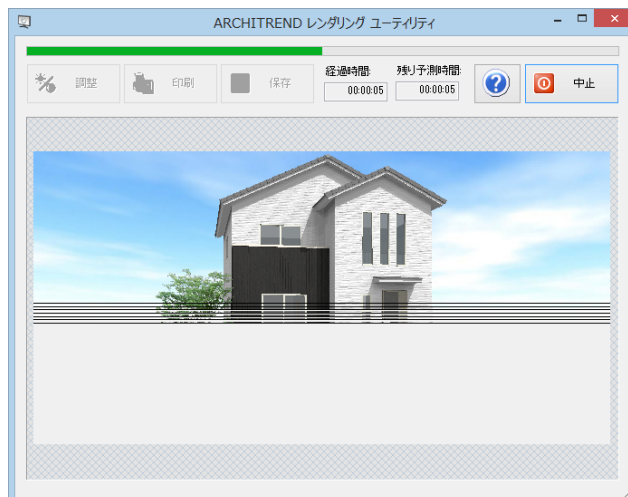
表示されたダイアログで、作成する画像の解像度とサイズを設定します。



「レンダリング実行」をクリックすると、レンダリングユーティリティ」ウィンドウが開いて、レンダリングが開始されます。

レンダリングユーティリティはパーススタジオとは別ウィンドウで処理を行うため、レンダリングをしながら ARCHITREND ZERO 本体のウィンドウで作業できます。

また、レンダリングユーティリティ実行中は ARCHITREND ZERO を終了しても大丈夫です。



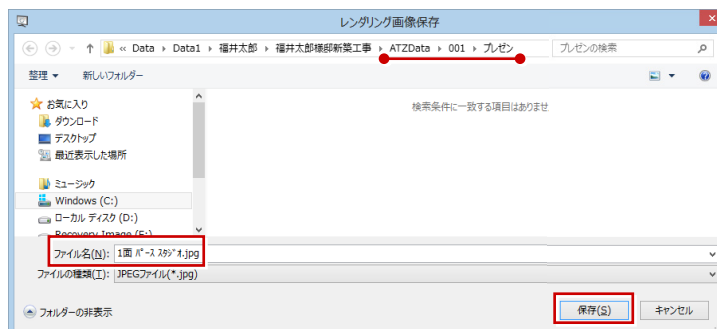
レンダリングが終了したら、画像を保存しましょう。

「保存条件」ダイアログで、保存ファイル形式を選び、「OK」をクリックします。



「ファイル名」を入力して「保存」をクリックします。

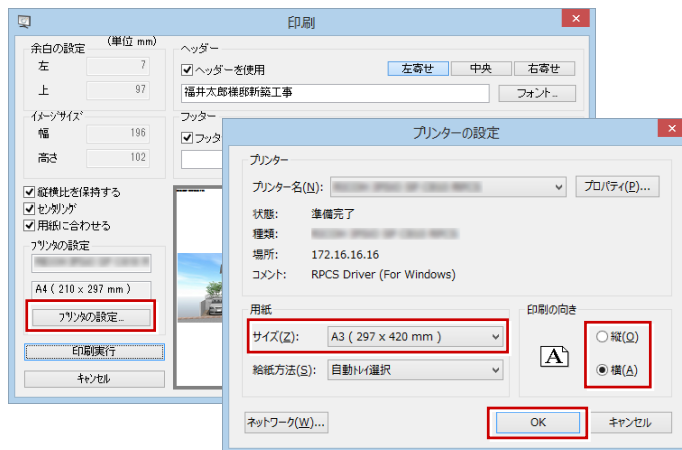
なお、画像の保存先の初期値は、ARCHITREND ZERO の物件フォルダに作成される「プレゼン」フォルダに保存されます。



画像を印刷しましょう。



「プリンタの設定」をクリックして、用紙サイズや向きを設定し、「OK」をクリックします。



「ヘッダー」「フッター」などの設定を確認して、「印刷実行」をクリックします。



以上で、パーススタジオの説明を終わります。

より詳細な操作内容を確認する場合には、教材動画のご利用をご検討ください。